

# 学校施設を含む公共施設の方針に係る説明会 開催結果【本庄地域】

8月 25 日(日) 開催  
本庄地域

## 学校施設を含む公共施設の方針に係る 説明会が開催されました

本庄市では、こどもたちにとって望ましい教育環境の実現を目指すため、学校規模の適正化を検討するとともに、学校規模の適正化により、統合となる学校の跡地の活用や既存の公共施設の機能を新たな施設に集めて複合化するなど、公共施設の見直しを進めています。

この度、検討を進めてまいりました学校施設を含む「各公共施設の見直し方針(案)」を取りまとめましたので、7月 20 日から8月 25 日 にかけて、市内 12 の小学校区単位での地区別説明会及び本庄地域・見玉地域の全体説明会を順次開催します。



開催風景(本庄市役所)

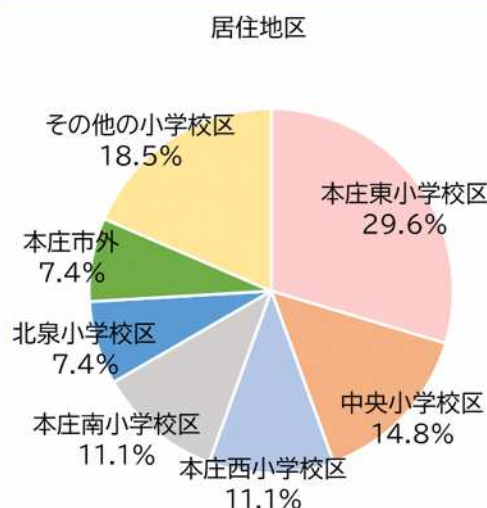
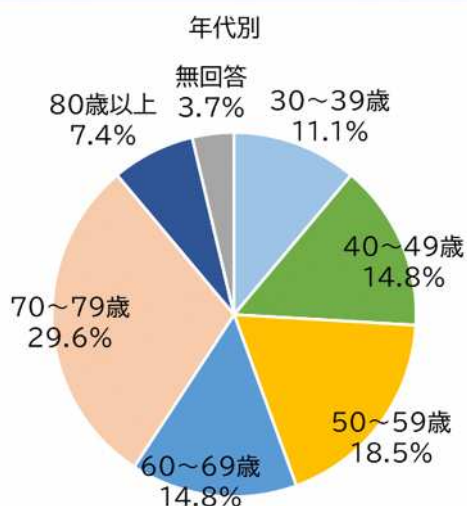
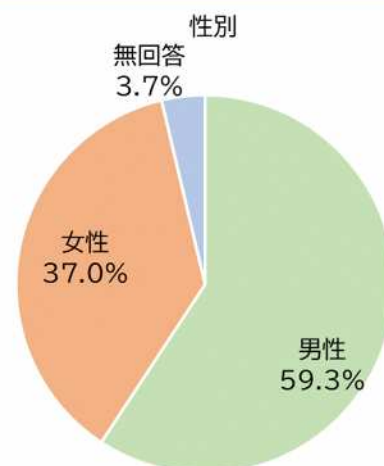
第14回として、8月25日(日)午後3時から本庄市役所において、「本庄地域」の説明会が開催されました。

当日の質疑応答では、9件のご意見・ご質問をいただきとともに、説明会にご出席いただいた皆様には会場でアンケート用紙を配布し、13人の方からご意見等をいただきました。

### 【開催概要】

開催日時 令和6年8月 25 日(日)  
午後 15:00～午後 17:00  
開催場所 本庄市役所 6階 大会議室  
参加者数 29 人  
アンケート回答者数 27 人

### 参加された方の属性(アンケートより)



## 説明会でいただいたご意見・ご質問(アンケートへの記載含む)

### 学校施設について

- 小規模認定校はとても良い制度で、本庄市の強みにもなる気がしている。小学校で不登校の多い時代ですから、この制度で他県の住民を引っ張ってこれる程ではないかとも思う。平成31年度からの制度だが、広報に力が入ったのは昨年で、まだこれからかと。無くすことは簡単なので、よく考えて練ってほしい。
- 本庄東小学校では、学校行事の時に近隣での違法駐車の問題があるため、スクールバスの利用になると更にそのような問題が懸念される。そのあたりについて、対策を考えているのか。
- 資料1に学校の課題として4つ挙げられており、4つ目の児童生徒の学力の育成について、統合するに当たって各校の学力の差はあるのか。また、3つ目の不登校対策はどのようになっているのか。近隣では外国籍の児童生徒が増加しており、日本語が難しい場合など、課題も多いと聞く。本市ではどのように考えていくのか。
- 教育行政として、本庄市の今後の教育環境がどうあるべきかが、この資料から読み取りにくい。小中一貫教育の体制が記載されているが、同じ敷地に小・中学校があるのが良いと思う。
- この機会に、本庄市ならではの小中一貫教育の在り方を考えてみてはどうか。
- 特徴ある学校教育ができると良い。取りこぼしのない、楽しい学校生活ができるようにしてあげたい。
- 教育行政の観点から、中学校区に統合された後の小中一貫教育について、中学校敷地内において児童生徒の教育(一体型)環境が維持されるよう、再構築してほしい。学童保育所も一体化が望ましいと考える。
- 学校の統合について、不登校生徒の対応(増えてしまうのが心配)、学童保育の増設(公営・民営問わず)、検討してもらいたい。
- 不登校児童・生徒のためのフリースクールや居場所づくりなど、作っていくことや整えていくことで、将来の仕事→家庭を作る(結婚)など、本庄市への社会貢献へつながるのではと思った。

### 公共施設について

- 資料3の33頁にあるように、小学校内に学童保育所ができるのはとても良いことだと思う。その中で、前原の学童保育所に通っているこどもが優先的には入れるようになるのか。また、現在は午後6時までと預かり時間が短い、伸びることはあるのか。
- 本庄南小学校や本庄西小学校のこどもの学童保育所はどうなるのか。学童保育所が減ってしまうのか。
- 本庄東小学校の学童保育所が新しくなるが、現在の各学童保育所の人数を足した規模になるのか。現在、足りないなのでそのあたりはどうするのか。新しい学童保育所の規模はいつ頃決まるのか。それにより民間の学童保育所にも影響があるため、早く教えてほしい。

## 公共施設について

- 学校内に学童保育所ができることは非常に嬉しい。ただ、既に不足しているので、時期を前倒しにしてくれるのもっと嬉しい。近い将来、現在通っている学童を出されてしまうので、出されない環境を希望する。
- 共和公民館については、小学校と一体化してみろという提案が無かったのが残念である。
- 令和13年度に日の出児童センターを解体する場合、令和14、15年度の期間、日の出児童センターの「児童センター」機能はどこにあるのか？
- 公共施設(複合施設)を計画する際には担当だけではなく、広く提案を聞く(設計段階で)機会がある方が良く感じた。公共施設でお金を儲ける方法(機能・設備)→維持管理費にまわせる。防災設備(機能)→地域の安心・安全につなげる。スポーツ少年団とスポーツ協会、小・中学校のクラブを中学校単位でクラブチーム化するなど、活用できる施設とソフト(活用計画)も必要など、広く多くの人と話した方が良く思う。
- 新しい施設を作るのであれば、駐車スペースも含め、生かせる、使いやすい形態をもう少し取り込み、より良いものができるよう、よく検討して、場合により見直しも含めてほしい。新しくなったけど使いづらいのではもったいない。
- 45年程前、400mトラックのある陸上競技場整備の検討を行った経緯がある。中学校の部活動の地域移行や小学校のスポーツ少年団について記載が無いので、そのあたりについてはどうなっているのか。また、市内には全国大会に出場できるようなこどもが居るが、寄居町まで練習に行っている。是非、400mトラックを作ってほしい。
- 検討のお願い ①400mトラック ②防災 ③部活動の移行 ④スポーツ少年団 等。
- 施設の見直しについて、災害時、特に水害時の施設として、旭小学校、仁手小学校校舎の利用を考えてほしい。
- 施設整備について、予算的なことが一番と思うが、地域コミュニティ施設を充実してほしいと考える。
- 学校等、他施設の見直し等の話を聞いて、年齢を重ねてきて本庄市の施設が発展して行くことで良かったと思っている。
- 文化財収蔵庫については記載があるが、ミュージアムについても恒久的な施設を市で持つてはどうか。
- 教育文化面では3年賃貸契約である本庄早稲田の杜ミュージアムを、恒久的施設として今計画に取り入れてほしい。

## その他

- 住民が増えないと税収が増えない。子育て世帯を増やす施策についてはどのような取組があるのか。
- 財政の問題とこどもの関係の施設がメインとなっているが、高齢化が進むため、高齢者についても考えて行かなければいけないと思う。ハコモノを創るとお金がかかるため、老化を防ぐというようなソフト面での取組を検討してほしい。この計画については文句の付けようがないと思うが、教育福祉関係だけでなく、視点を変えて考えて行く必要もあると感じた。

その他

- 本市の財政健全度指数について、現在は問題ないと広報に記載があった。この計画を進めることにより、どのように健全度指数が悪化していくのか。市の財政状況では、基金が180億円まで積みあがっているため、学校の統廃合の検討については、財政的な制約を外して再検討してほしい。
- 財政について、色々な対策をいただき、年度のギャップが1億円と聞いた。ふるさと納税、インターネット寄付等、利用していかれることを希望する。
- 見やすい沢山の資料をありがとうございました。
- 説明者が分かりやすい言葉で、とても理解しやすかった。答弁についても明確であった。
- 決まったことは広く広報に、早めの情報提供をお願いしたい。
- 資料等、会議も行い大変だったと思う。
- 今後の本庄市として、人口、特に子育て世帯増を目指してほしいと思う。市独自の取組としての子育て世帯への支援、移住者増に向けた取組、定住・子育てママ向けの仕事のあっせん、結婚・出産の支援等。世の中的に人の取り合いのような状態かと思う。今後の本庄市の発展のため、よろしくをお願いしたい。持続的で魅力ある市を目指し、よろしく申し上げます。
- プロセスと結果の有効的な開示を、多くの市民に届くようにお願いしたい。
- 説明会ありがとうございます。早めに推進してほしいと思っている。既に取り組んでいる市町村もあるので、メリット、デメリットなどコンサルタントの意見を取り入れて早く進めてほしい。
- 説明会については良かったと思う。出された意見を有効活用して欲しいと思う。無い袖は振れないが、何が一番大切なのかという事を見据えて、それだけは守って、守るためにはどうするかという取組が必要だと思う。

※各説明会でいただいた主なご意見・ご質問に対する回答につきましては、後日、自治会回覧及び市ホームページに掲載いたします。

【お問合せ先】 本庄市 企画財政部 企画課 0495-25-1157  
本庄市 教育委員会 学校教育課 0495-71-8690